



OKAYAMA

2026 AUTOBACS SUPER GT Round 01

2026 SUPER GT 第1戦 岡山国際サーキット
4月11日(土)～12日(日)

PRACTICE 公式練習

4月11日(土) 天候:晴れ/路面:ドライ

約5ヶ月ほどのオフシーズンを経て、いよいよ2026年のSUPER GTが岡山国際サーキットで開幕を迎えた。2025年はシーズン後半戦を中心に速さをみせてきたTGR TEAM ENEOS ROOKIEは、今シーズンも福住仁嶺と大嶋和也のふたりがドライブ。悲願のチャンピオンを目指していく。

迎えた開幕戦は、4月11日(土)の午前9時30分に公式練習がスタートした。前日までは天候が悪かった岡山国際サーキットだが、この日は快晴に恵まれ、気温18度/路面温度24度と例年よりも暖かいコンディションとなった。

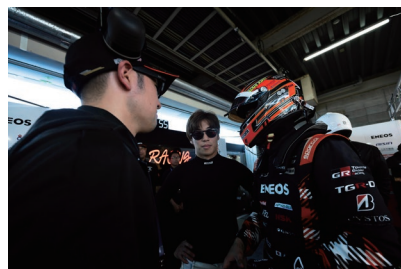
ENEOS X PRIME GR Supraは、まずは大嶋からステアリングを握りコースイン。今季、チームは福住のスピードに期待し第1ドライバーに据え、大嶋のクルマづくりの手腕に期待し第2ドライバーに据えたが、大嶋は午後の公式予選に向けてセットアッ

プの確認等の作業を進めていった。ただ、今オフのメーカーテストや公式テストではENEOS X PRIME GR Supraには細かい不具合が発生しており、その対処でセットアップに本格的に取り組めていなかった。

その影響か、この公式練習での大嶋のフィーリングは良くない。セットアップ変更をトライしながらアウトインを繰り返し、32周を走りピットに戻り、福住に交代したが、福住のフィーリングも同様。15周を走り、チェッカー間際に1分19秒660というベストタイムを記録したものの、結果は12番手。上位陣は1分18秒台の中盤に入っており、苦しいレースウィークのスタートとなってしまった。

「いろいろと変更しながら走っていましたが、正直言って少し良くない状況でした」と福住は振り返った。午後の公式予選までそれほど時間が多いわけではない。TGR

TEAM ENEOS ROOKIEは忙しい昼のインターバルのなかで、午後の公式予選に向けてセットアップの修正を行った。



QUALIFY 公式予選

4月11日(土) 天候:晴れ/路面:ドライ



午前からの晴天が続き、午後2時から始まった公式予選は気温25度/路面温度34度と4月とは思えない暖かさのなかで始まった。

ENEOS X PRIME GR Supraは、まずは大嶋がQ1のアタッカーを務めた。ただ、やはりフィーリングはあまり良くない。大嶋は一度アタックを終えたが、そのタイミングの最終コーナーで#8 HRC プレリウド GTがクラッシュ。一度赤旗中断となった。

セッションは残り4分で再開されたが、この赤旗中にトライした変更がプラスに働いた。再度のアタックという難しい状況な

から1分18秒497というタイムを記録し、10番手でQ1突破をなんとか果たした。

Q1を経て、ENEOS X PRIME GR Supraは良い方向性を見出すことができた。Q2の福住は、フィーリングが改善された ENEOS X PRIME GR Supra を駆り、一気に1分17秒481までタイムアップ。3番手につけることができた。

走り出しからのフィーリングの悪さは、このQ2で劇的に改善することができた。「エンジニアさん、大嶋さんがクルマの方向性を考えてくれたおかげです」と福住はチームに感謝を伝えた。

RACE 決勝レース

4月12日(日) 天候:晴れ/路面:ドライ

公式練習での苦戦から改善し、予選3番手につけることに成功した ENEOS X PRIME GR Supra。迎えた決勝日の4月12日(日)は朝から初夏の陽気で、気温24度/路面温度39度というコンディションのもと、午後1時20分に決勝レースの火ぶたが切つて落とされた。

チームは ENEOS X PRIME GR Supra にさらなる改善を施し、スタートドライバーの福住にステアリングを委ねた。1周目、福住はまずきっちり3番手を守ったが、セットアップは改善されつつあったものの、トップを走る#38 GR Supra、2番手の#36 GR Supraを追うまでには至らない。前の2台とのギャップが広がっていく一方、後方からは#17 HRC プレリウド GTをかわしてきた#12 Z NISMO GT500が急接近。福住は防戦を強いられた。

ただ#12 Z NISMO GT500のペースが良く、福住は抵抗するも5周目のリボルバーコーナーで先行を許してしまうことに。ENEOS X PRIME GR Supraは4番手で序盤

のレースを進めていくことになった。

福住はその後ややペースには苦しみつつも、5番手を走っていた#17 HRC プレリウド GTは寄せ付けず、33周を終えて ENEOS X PRIME GR Supra をピットに向けた。

チームは昨年同様、迅速な作業でタイヤ交換と給油を行い、大嶋にステアリングを託し ENEOS X PRIME GR Supra を送り出した。このレースはコースアウト車両こそあったものの、フルコースイエローやセーフティカーは入らず、クリーンなレースが続いていた。GT500クラスでもピット作業ミス等はほとんど起こらず、地力のスピードがそのまま順位に直結。各車がピット作業を終えると、ENEOS X PRIME GR Supra はふたたび4番手に戻っていた。

大嶋が担当した後半は長丁場だったが、レース終盤、大嶋はペースに苦しみはじめてしまった。タイヤカスのピックアップに悩まされ、あちこちで ENEOS X PRIME GR Supra がスライド。コントロールに四苦八苦するうちに、後方からはペースに優る#39 GR Supraが急接近した。2台はチェッカーまで延々と熾烈なバトルを強い



られることになったが、大嶋は抜きどころをきっちり抑えると、4位を守ったままフィニッシュした。

これまで岡山は得意コースのひとつだったが、今オフに車両開発が認められたことが影響したか、その優位性が失われていた。土曜の苦戦はそれが大いに響いたが、TGR TEAM ENEOS ROOKIEはチーム一丸の改善で、表彰台には届かなかったものの4位という結果で終えてみせた。

チームの成長を感じる一戦になったとともに、TGR TEAM ENEOS ROOKIEは多くの課題も得た。目標とするチャンピオンのためには、この課題をひとつずつクリアしていかなければならない。

第2戦の舞台は、チームのホームコースである富士スピードウェイ。さらなる上位進出を目指し、TGR TEAM ENEOS ROOKIEは一丸となって改善に取り組んでいく。



VOICE ドライバー / GM / 監督コメント



Nirei FUKUZUMI DRIVER 福住仁嶺

「今回、土曜の公式練習のロングランからあまり良いフィーリングではありませんでした。正直、公式予選の3位がうまくいきすぎたと言ってもいいくらいのポジティブな結果だったと思います。決勝レースに向けて、いろいろなトライを行いました。ポテンシャルが足りない状況で、僕自身の走りもあまり良くなかったと思います。その点は今後に向けていろいろ調整しないといけないですね。3番手スタートからの4位は悔しい気持ちもありますが、週末全体のことを考えると、悪くないレースだったと思います。また課題としていろいろ見えてきた週末でした。その課題をクリアするのが難しいのですが、チームのみんなと一緒に考えて、次戦も頑張っていきたいと思っています」



Kazuya OSHIMA DRIVER 大嶋和也

「今回、走り出しからフィーリングは最悪で、今までGT500クラスで戦ってきたなかでもいちばん乗りづらいくらいでした。公式予選ではQ1を通れるのか不安でしたが、なんとか改善することができ、グリップがあるときは乗りこなせるくらいになりました。予選では福住選手も頑張ってくれて3番手につけられたので、決勝でもチャンスがあれば前に出たいと思っていましたが、単独ではまだしも、競り合いになるとピックアップも発生するし、厳しいレースになりました。そこらじゅうでカウンターを当てていましたし、GT300も抜けず大変でした。でもそんな苦しい状況のなかでも、しっかり4位が獲れたので、チームとしても成長をみせられたのではないかと考えています」



Daisuke TOYODA GENERAL MANAGER 豊田大輔

「今季、クルマが少し変わったことで事前の公式テストから岡山での強いパッケージが失われている印象があり、土曜の公式練習から『これはまずい』という状況になっていました。その状況のなかで、よく4位でゴールできるまでもってこることができたと思いますし、今のチーム力を表しているのではないかと思います。苦しい状況でも、みんなが『なんとかしよう』という表情や姿勢をみせてくれたので、すごく誇りに思っています。ドライバーもメカニックもエンジニアも、自分たちの強みを活かした貢献をしてくれたおかげで、予選3番手に繋がりました。決勝は抜くまでの強さは出せなかった。次の第2戦富士に活かしたいですし、今シーズンの7戦をいかに戦うかをしっかり考えていきたいです」



Toshiaki TAKEDA DIRECTOR 武田敏明

「予選3番手からのスタートだったので、表彰台に届かずポジションを落としての4位という結果は非常に悔しいところではありますが、土曜の公式練習での走り出しの状況を考えると、チームみんなでリカバリーすることができた開幕戦だったな、と思います。特にドライバーのふたりには助けられた週末でした。福住選手のスピード、そして大嶋選手のクルマに対するコメント、そして決勝レースでのベテランらしい粘り強い戦いのおかげだったと思います。今回はふたりのドライバーに助けられた部分大きいので、次戦はホームコースの富士です。ドライバーふたりに満足してもらえるようなクルマを作り、ふたりに助けられるようなレースをしたいと思っています」

PHOTO GALLERY フォトギャラリー



ROOKIE RACING



RESULT リザルト一覧

2026.04.11 2026 AUTOBACS SUPER GT ROUND 1 OKAYAMA GT 300KM RACE 4.11(土)12時 SUPER GT 改 第1

GT500 OFFICIAL PRACTICE 12:56

Course length: 3.703 m Weather: Sunny / Track: Dry

Pos.	No.	Car/Team	BestTime	Diff.	Gap	DriverName	BestTime	Lap	Lap Speed
1	39	DENSO KOBELO SAND GR Supra	1:18.835			Yuki Sakaguchi	1:18.415	17/17	187.882
2	17	ARTEMO REAL RACING	1:18.831	0.296		Keita Yanahita	1:18.555	24/25	193.925
3	16	ARTEMO REAL RACING	1:18.880	0.345	0.049	Koudai Tsukakoshi	1:18.129	7/15	185.489
4	36	ARTEMO REAL RACING	1:18.898	0.381	0.016	Yuta Nomura	1:18.551	24/25	185.892
5	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	1:19.247	0.612	0.251	Naoki Yamamoto	1:19.488	12/25	187.706
6	12	TRIS IMPUL with SDG Z	1:19.320	0.685	0.073	Rin Sato	1:18.980	28/27	187.797
7	24	REALIZE CORPORATION Z	1:19.326	0.701	0.016	Sho Tsuboi	1:18.998	32/34	188.753
8	38	KONDO RACING	1:19.346	0.711	0.010	Keita Yanahita	1:19.499	8/20	187.655
9	8	ARTEMO REAL RACING	1:19.389	0.754	0.043	Naoki Yamamoto	1:19.247	20/21	186.218
10	23	MOTUL Nitterra Z	1:19.562	0.987	0.113	Tadashi Maeno	1:19.548	17/20	186.956
11	37	Deloitte TOM'S GR Supra	1:19.645	1.010	0.083	Kazuki Hiramine	1:18.487	14/20	187.710
12	14	ENEDS X PRIME GR Supra	1:19.660	1.025	0.015	Bertrand Bagette	1:19.203	22/23	186.064
13	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:20.017	1.382	0.357	Tepei Natori	1:18.328	14/15	185.008
14	19	WebSport BANDOH GR Supra	1:20.442	1.807	0.425	Atsushi Miyake	1:20.307	12/21	185.596
						Riku Ohsue	1:18.365	8/18	185.008
						Hioki Otsu	1:19.701	8/21	187.260
						Ukyo Sasahara	1:19.562	8/21	187.552
						Mitsunori Takahashi	1:19.827	22/23	187.418
						Giuliano Aleisi	1:19.645	25/28	187.378
						Nirei Funazumi	1:18.660	14/15	187.248
						Kazuya Oshima	1:20.124	19/22	186.377
						Riku Ohsue	1:20.594	7/22	185.407
						Igor Omura Fraga	1:20.077	19/22	186.800
						Yuki Kimoto	1:20.729	24/25	185.130
						Sense Sakaguchi	1:20.442	8/18	185.718

※ 改訂種別: サインプレックスの修正及びCertificateの修正
 Start Time 8:00 Finish Time 11:20
 Red Flag 8:34(1)-8:37(0)
 ※ Certificate Hold Out: 9:53 罰金 (GT4 7/27 No.006-8 「フロントウィング(追加部分)の取り付け」)
 Chief Timekeeper: 寺元良一
 Clerk of the Course: 白村 乙丸
 Chief Steward: 水野 雅男



2026.04.11 2026 AUTOBACS SUPER GT ROUND 1 OKAYAMA GT 300KM RACE 4.11(土)12時 SUPER GT 第8

GT500 QUALIFYING OFFICIAL RESULT 17:06

Course length: 3.703 m

Pos.	No.	Car/Team	DriverName	Q2Time	Lap	Q1Time	Lap
1	39	KeepPer CERUMO GR Supra	Tsukui Oyo	1:17.562	5/5		
2	38	KeepPer CERUMO GR Supra	Riuto Kobayashi	1:17.417	5/5	1:18.550	9/9
3	14	ENEDS X PRIME GR Supra	Nirei Funazumi	1:17.481	5/5	1:18.497	9/9
4	17	ARTEMO REAL RACING	Kazuya Oshima	1:17.697	5/5	1:18.335	7/7
5	39	DENSO KOBELO SAND GR Supra	Yuki Sakaguchi	1:17.835	5/5	1:18.085	5/5
6	16	ARTEMO REAL RACING	Yuta Nomura	1:17.732	6/6	1:18.081	4/4
7	12	TRIS IMPUL with SDG Z	Rin Sato	1:17.781	5/5	1:18.011	4/4
8	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	Naoki Yamamoto	1:17.864	5/6	1:17.992	8/8
9	24	REALIZE CORPORATION Z	Tepei Natori	1:17.963	6/6	1:18.172	9/9
10	23	MOTUL Nitterra Z	Kakumasa Ohya	1:18.289	5/8	1:18.336	9/9
11	18	WebSport BANDOH GR Supra	Mitsunori Takahashi	1:18.629	5/5	1:18.287	8/8
12	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	Atsushi Miyake				
13	37	Deloitte TOM'S GR Supra	Ukyo Sasahara				
14	19	WebSport BANDOH GR Supra	Yuki Kimoto				
15	34	Modulo Nakajima Racing	Sense Sakaguchi				
16	37	Deloitte TOM'S GR Supra	Riku Ohsue				
17	37	Deloitte TOM'S GR Supra	Igor Omura Fraga				
18	8	ARTEMO REAL RACING	Ukyo Sasahara				
19	8	ARTEMO REAL RACING	Giuliano Aleisi				
20	8	ARTEMO REAL RACING	Hioki Otsu				

Q1 (Weather: Sunny / Track: Dry) Start Time 14:00 Finish Time 15:04
 Q2 (Weather: Sunny / Track: Dry) Start Time 15:20 Finish Time 15:42
 Red Flag 14:49(2)-15:00(0)
 ※ Certificate Hold Out: 15:29 罰金 (No.029 5 「右後部固定翼」)
 Chief Timekeeper: 寺元良一
 Clerk of the Course: 白村 乙丸
 Chief Steward: 水野 雅男



2026.04.11 2026 AUTOBACS SUPER GT ROUND 1 OKAYAMA GT 300KM RACE 4.11(土)12時 SUPER GT No.5

GT500 QUALIFYING 1 RESULT 15:19

Course length: 3.703 m Weather: Sunny / Track: Dry

Pos.	No.	Car/Team	BestTime	Diff.	Gap	DriverName	BestTime	Lap	Lap Speed
1	38	au TOM'S GR Supra	1:17.660			Sho Tsuboi	1:17.660	8/8	171.656
2	12	TRIS IMPUL with SDG Z	1:17.992	0.332	0.332	Kazuki Hiramine	1:17.992	8/8	170.925
3	38	KeepPer CERUMO GR Supra	1:18.059	0.399	0.067	Bertrand Bagette	1:17.992	8/9	170.925
4	16	ARTEMO REAL RACING	1:18.081	0.421	0.022	Tsukui Oyo	1:18.059	9/9	170.779
5	39	DENSO KOBELO SAND GR Supra	1:18.085	0.425	0.004	Yuki Sakaguchi	1:18.081	4/4	170.730
6	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	1:18.172	0.512	0.087	Sacha Fenestraz	1:18.085	5/5	170.722
7	23	MOTUL Nitterra Z	1:18.297	0.637	0.125	Tadashi Maeno	1:18.172	8/9	170.532
8	17	ARTEMO REAL RACING	1:18.335	0.675	0.038	Kakumasa Ohya	1:18.297	8/8	170.299
9	24	REALIZE CORPORATION Z	1:18.336	0.676	0.001	Tepei Natori	1:18.335	7/7	170.177
10	14	ENEDS X PRIME GR Supra	1:18.497	0.837	0.161	Atsushi Miyake	1:18.336	8/8	170.175
11	19	WebSport BANDOH GR Supra	1:18.497	0.837	0.000	Nirei Funazumi	1:18.497	9/9	169.828
12	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:18.445	0.785	0.166	Ukyo Sasahara	1:18.445	8/8	168.193
13	37	Deloitte TOM'S GR Supra	1:20.463	2.803	1.018	Igor Omura Fraga	1:18.445	8/8	167.799
14	8	ARTEMO REAL RACING	1:20.463	2.803	0.000	Giuliano Aleisi	1:20.463	4/6	165.676

Start Time 14:00 Finish Time 15:04
 Red Flag 14:49(2)-15:00(0)
 ※ Certificate Hold Out: 15:29 罰金 (No.029 5 「右後部固定翼」)
 Chief Timekeeper: 寺元良一
 Clerk of the Course: 白村 乙丸



2026.04.12 2026 AUTOBACS SUPER GT ROUND 1 OKAYAMA GT 300KM RACE 4.11(土)12時 SUPER GT No.13

GT500 OFFICIAL RESULT 16:45

Course length: 3.703 m Weather: Sunny/Cloudy / Track: Dry

Pos.	No.	Car/Team	Lap	TotalTime	Diff.	Gap	DriverName	Lap	BestTime
1	38	au TOM'S GR Supra	82	1:54:38.677			Sho Tsuboi	4/31	1:21.442
2	38	KeepPer CERUMO GR Supra	82	1:54:58.279	19.602	19.602	Keita Yanahita	4/21	1:20.554
3	12	TRIS IMPUL with SDG Z	82	1:55:00.890	22.013	24.011	Tsukui Oyo	4/32	1:20.576
4	14	ENEDS X PRIME GR Supra	82	1:55:09.755	31.078	9.065	Riuto Kobayashi	8/30	1:22.408
5	39	DENSO KOBELO SAND GR Supra	82	1:55:10.214	31.537	0.459	Kazuki Hiramine	4/48	1:22.253
6	18	ARTEMO REAL RACING	82	1:55:20.216	41.539	10.002	Bertrand Bagette	4/24	1:20.671
7	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	82	1:55:26.303	57.626	16.087	Kazuya Oshima	10/49	1:22.315
8	23	MOTUL Nitterra Z	82	1:55:36.363	1:01.686	20.562	Yuta Nomura	4/28	1:21.184
9	24	REALIZE CORPORATION Z	82	1:55:40.862	1:02.185	4.127	Sacha Fenestraz	4/44	1:21.895
10	17	ARTEMO REAL RACING	81	1:54:39.588	1:18.188	20.562	Tomoki Nagai	4/20	1:21.442
11	8	ARTEMO REAL RACING	81	1:54:40.189	1 Lap	0.821	Rin Sato	5/52	1:21.804
12	19	WebSport BANDOH GR Supra	81	1:54:58.887	1 Lap	16.878	Naoki Yamamoto	4/28	1:21.887
13	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	81	1:55:26.907	1 Lap	30.400	Tadashi Maeno	4/54	1:22.387
14	37	Deloitte TOM'S GR Supra	81	1:55:27.538	1 Lap	0.640	Kakumasa Ohya	6/54	1:22.397
15	34	Modulo Nakajima Racing	74	1:55:27.538	8 Laps	7 Laps	Mitsunori Takahashi	4/28	1:21.887
16	37	Deloitte TOM'S GR Supra	74	1:55:27.538	8 Laps	7 Laps	Ukyo Sasahara	4/28	1:21.887
17	37	Deloitte TOM'S GR Supra	74	1:55:27.538	8 Laps	7 Laps	Hioki Otsu	4/28	1:21.887
18	37	Deloitte TOM'S GR Supra	74	1:55:27.538	8 Laps	7 Laps	Giuliano Aleisi	21/27	1:22.868

Start Time 13:25 Finish Time 16:02
 Fastest Lap: No.38 T. Oyo 1:20.576 4/32 Lap (185.446km/h)
 ※ Certificate Hold Out: 15:29 罰金 (No.029 5 「右後部固定翼」)
 Chief Timekeeper: 寺元良一
 Clerk of the Course: 白村 乙丸
 Chief Steward: 水野 雅男



2026年 SUPER GT ランキング 大嶋和也/福住仁嶺: 4位 (8ポイント) TGR TEAM ENEDS ROOKIE: 4位 (11ポイント)

ROOKIE RACING

SUPER GT
GT500 / TGR TEAM ENEOS ROOKIE

Our activities are supported by all partners

ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています

 **ENEOS**

AISIN

さあ、街から未来をかえよう
 **三井不動産**
MITSUI FUDOSAN

ThreeBond

 **docomo Business**

 **MITSUI & CO.**

 **HAYASHI**
TELEMPU

いつもいいし、アタラシイこと。
 **VITEC**
Creative Power

NSK

 **SMBC**

 **KINTO**

 **ghibli**

 **vuteq**

 **TAMIYA**

 **asics**

 **ジヤンポ**



 **ENKEI**